

# ワイヤレスアクセスポイントの設定 サービス品質 ( QoS )

## 目的

サービス品質 ( QoS ) は異なるアプリケーション、ユーザ、またはデータフローのためのトラフィックに優先順位をつけることを可能にします。従ってそれもクライアントの QoS に影響を与える指定されたレベルにパフォーマンスを保証するのに使用することができます。QoS は次のファクタから一般に影響を受けます: ジッタ、レイテンシーおよびパケットロス。

この技術情報は方法でワイヤレスアクセスポイントの QoS を設定するガイドします。

## 適当なデバイス

- WAP100 シリーズ
- WAP300 シリーズ
- WAP500 シリーズ

## [Software Version]

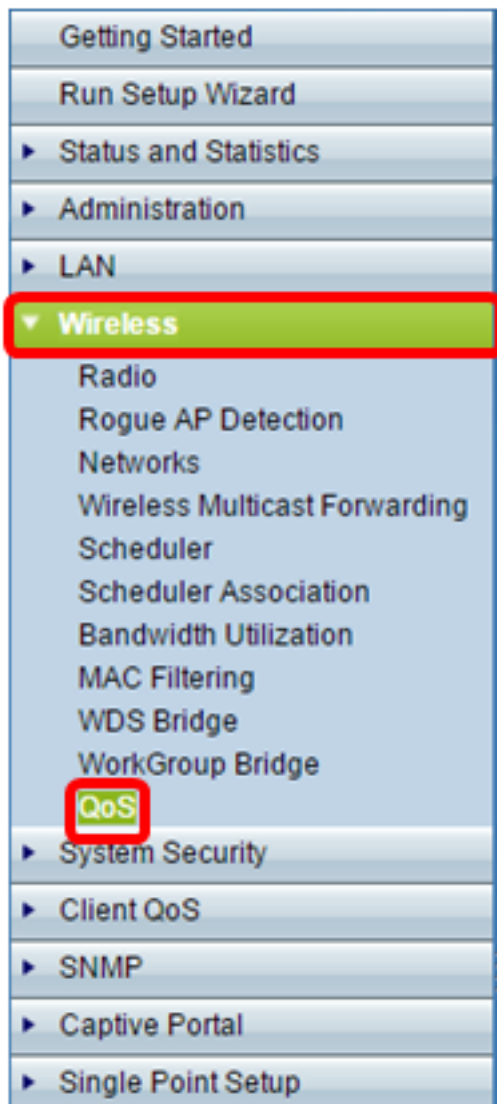
- 1.0.6.2 — WAP121、WAP321
- 1.0.1.4 — WAP131、WAP351
- 1.2.0.2 — WAP371、WAP551、WAP561

## QoS の設定

ステップ 1.ワイヤレスアクセスポイントの Webベース ユーティリティへのログイン。

ステップ 2. > QoS 『Wireless』 をクリックして下さい。

注: WAP351 および WAP131 に関しては、ワイヤレスに > Quality of Service ( QoS ) 行って下さい。



ステップ 3. ( オプションの ) は無線エリアの適切な無線オプションを選択します。

注: 無線エリアは WAP131、WAP351、WAP371、WAP551 および WAP561 で利用できません。

## QoS

Select the radio interface first, and then enter the configuration parameters.

Radio:

- Radio 1 (2.4 GHz)  
 Radio 2 (5 GHz)

EDCA(Enhanced Distributed Channel Access)Template:

Custom ▼

### WAP EDCA

Queue	Arbitration Inter-Frame Space	Minimum Contention Window	Maximum Contention Window	Maximum Burst
Data 0 (Voice)	1	3 ▼	7 ▼	1.5
Data 1 (Video)	1	7 ▼	15 ▼	3.0
Data 2 (Best Effort)	3	15 ▼	63 ▼	0
Data 3 (Background)	7	15 ▼	1023 ▼	0

Wi-Fi Multimedia (WMM):  Enable

ステップ 4. EDCA (高められた分散チャネル アクセス) テンプレート ドロップダウン リストから適切なオプションを選択して下さい。

## QoS

Select the radio interface first, and then enter the configuration parameters.

Radio:  Radio 1 (2.4 GHz)  
 Radio 2 (5 GHz)

EDCA(Enhanced Distributed Channel Access)Template: Custom ▼

WAP EDCA				
Queue	Arbitration Inter-Frame Space	Minimum Contention Window	Maximum Contention Window	Maximum Burst
Data 0 (Voice)	<input type="text" value="1"/>	<input type="text" value="3"/> ▼	<input type="text" value="7"/> ▼	<input type="text" value="1.5"/>
Data 1 (Video)	<input type="text" value="1"/>	<input type="text" value="7"/> ▼	<input type="text" value="15"/> ▼	<input type="text" value="3.0"/>
Data 2 (Best Effort)	<input type="text" value="3"/>	<input type="text" value="15"/> ▼	<input type="text" value="63"/> ▼	<input type="text" value="0"/>
Data 3 (Background)	<input type="text" value="7"/>	<input type="text" value="15"/> ▼	<input type="text" value="1023"/> ▼	<input type="text" value="0"/>

Wi-Fi Multimedia (WMM):  Enable

- WFA は—この を機能セット一般および混合されたトラフィックのために最もよい EDCA ステーションおよび WAP デバイスのための Wi-Fi 同盟 ( WFA ) デフォルト デイフォルトします。
- 音声のために最適化される—この機能セットは音声トラフィックのために最もよい WAP デバイスおよび EDCA の推奨値配置します。
- カスタム—このオプションはプリファレンスに基づいて設定を規定 することを可能にします。

注: ドロップダウン リストから『Custom』 を選択 する場合、[ステップ 5](#)に進んで下さい。  
[しない場合は、ステップ 6 に進みます。](#)

[ステップ 5](#) WAP EDCA エリアの設定 パラメータ。

## QoS

Select the radio interface first, and then enter the configuration parameters.

Radio:  Radio 1 (2.4 GHz)  
 Radio 2 (5 GHz)

EDCA(Enhanced Distributed Channel Access)Template: Custom

WAP EDCA				
Queue	Arbitration Inter-Frame Space	Minimum Contention Window	Maximum Contention Window	Maximum Burst
Data 0 (Voice)	1	3	7	1.5
Data 1 (Video)	1	7	15	3.0
Data 2 (Best Effort)	3	15	63	0
Data 3 (Background)	7	15	1023	0

Wi-Fi Multimedia (WMM):  Enable

- データ 0 (音声) — 高優先度キュー、最小遅延。VoIP のような時間に依存するデータおよびストリーミングメディアはこのキューに自動的に送信されます。
- データ 1 (ビデオ) — 高優先度キュー、中間遅延。ビデオデータのような時間に依存するデータはこのキューに自動的に送信されます。
- データ 2 (最もよい努力) — 中程度の優先順位優先キュー、中間スループットおよび遅延。ほとんどの従来の IP データはこのキューに送信されます。
- データ 3 (バックグラウンド) — 低優先順位キュー、高い throughput。最大スループットを必要とし、時間に依存しないバルクデータはこのキューに送られます。(FTP データ、たとえば)。
- 調停インターフレーム領域—データフレームのための A 待ち時間。待ち時間はスロットで測定されます。AIFS の有効値は 1 ~ 255 です。
- 最小コンテンション ウィンドウ—伝達の再試行のための最初のランダム バックオフ 待ち時間 (ウィンドウ) を判別するアルゴリズムへの入力。
  - この値は最初のランダム バックオフ 待ち時間が判別される範囲の上限 (ミリ秒) です。
  - 生成される最初の乱数は 0 とここに規定される数間の数です。
  - データフレームが送信される前に最初のランダム バックオフ 待ち時間が切れれば、リトライ カウンタは増分し、ランダム バックオフ値 (ウィンドウ) は倍増します。倍増はランダム バックオフ値のサイズが最大コンテンション ウィンドウで定義される数に連絡するまで続きます。
  - 有効値は 1、3、7、15、31、63、127、255、511、または 1024 です。この値は最大コンテンション ウィンドウの値より下部である必要があります。
- 最大コンテンション ウィンドウ—ランダム バックオフ値の倍増のための上限 (ミリ秒)。倍増するこれはデータフレームが送信されるか、または最大コンテンション ウィンドウサ

イズが達するまで続きます。

- 最大コンテンション ウィンドウ サイズが達した後、再試行は許可される再試行の最大数に達するまで続きます。
- 有効値は 1、3、7、15、31、63、127、255、511、または 1024 です。この値は最小コンテンション ウィンドウの値より高い必要があります。
- 最大バースト ( WAP だけ ) — WAP からクライアント ステーションにトラフィック フローにだけ適用する WAP EDCA パラメータ。この値は ( ミリ秒で ) 無線ネットワークのパケットバーストのために許可される最大バースト 長さを規定します。パケットバーストはヘッダー情報なしで送信されるマルチフレームの収集です。減少させたオーバーヘッドはより高いスループットおよび方がパフォーマンスという結果に終わります。有効値は 0.0 ~ 999 です。

[ステップ 6](#) : [Save] をクリックします。

Wi-Fi Multimedia (WMM):  Enable

Station EDCA				
Queue	Arbitration Inter-Frame Space	Minimum Contention Window	Maximum Contention Window	TXOP Limit
Data 0 (Voice)	<input type="text" value="2"/>	<input type="text" value="3"/> ▼	<input type="text" value="7"/> ▼	<input type="text" value="47"/>
Data 1 (Video)	<input type="text" value="2"/>	<input type="text" value="7"/> ▼	<input type="text" value="15"/> ▼	<input type="text" value="94"/>
Data 2 (Best Effort)	<input type="text" value="3"/>	<input type="text" value="15"/> ▼	<input type="text" value="1023"/> ▼	<input type="text" value="0"/>
Data 3 (Background)	<input type="text" value="7"/>	<input type="text" value="15"/> ▼	<input type="text" value="1023"/> ▼	<input type="text" value="0"/>

No Acknowledgement:  Enable

Unscheduled Automatic Power Save Delivery:  Enable

今うまくワイヤレスアクセスポイントの QoS を設定する必要があります。